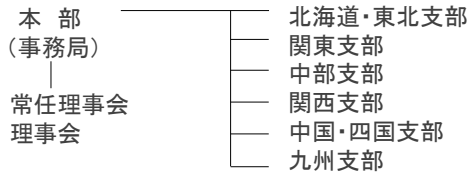


組織と会員

■学会組織

本学会は、常任理事会、理事会を中心に運営しています。また、全国に6つの支部があり、各支部では全国大会に向けての研究発表会や、さまざまな独自の活動を展開しています。



■会員

本学会の会員の種別と会費は、次のとおりです。

- 1 正会員 この学会の目的に賛同し、学会の活動を推進するために入会した者(年額 10,000 円)
- 2 学生会員 この学会の目的に賛同し、学会の活動を推進するために入会した大学院および学部の学生(年額 5,000 円)
- 3 維持会員 この学会の目的に賛同し、学会の活動を支援するために入会した者(年額 50,000 円)
- 4 名誉会員 この学会に対する貢献または消費者教育に関する研究業績が顕著であって、学会の理事会が推薦し、会員総会で承認された者

<維持会員の皆様>

- ・味の素株式会社 ・独立行政法人国民生活センター
- ・サントリーコミュニケーションズ株式会社 ・公益社団法人消費者関連専門家会議
- ・公益財団法人生命保険文化センター ・第一生命保険株式会社
- ・株式会社中部日本教育文化会 ・日本司法書士会連合会 ・日本証券業協会
- ・一般社団法人日本損害保険協会 ・株式会社パロマ

※五十音順 (2021年10月現在)

入会

■入会手続

本学会は、研究機関、教育機関、企業、行政、消費者団体、その他の個人を問わず、学会の趣旨にご賛同いただいた皆様の入会を歓迎します。入会の手続の詳細については、学会ホームページ(入会のご案内)をご覧ください。

主な活動

■全国大会

本学会では、毎年秋に、全国大会を開催します。全国の会員による研究発表のほか、社会的な関心の高いテーマなどをとりあげ、講演会、シンポジウムなどが行われます。



■消費者教育学生セミナー

本学会では、毎年夏に、消費者教育学生セミナーを開催します。消費者教育に関心のある学生たちが集い、講義を受け、ワークショップやプレゼンテーションを行います。



■研究交流会

本学会では、毎年夏に、維持会員の皆様と本学会役員による研究交流会を開催しています。維持会員の皆様や学会関係者が講師となり、消費者関連の最新の情報交換を行うとともに、交流を深めます。



■会報及び学会誌の刊行

本学会では、毎年9月に、1年間の学会活動などを会員に報告する『日本消費者教育学会会報』と、会員の研究論文(査読付)をとりまとめた学会誌『消費者教育』を刊行しています。学会誌には、多くの投稿があり、新しい多種多様な研究の成果が公表されています。



出版物

■消費者教育 Q&A

学会創立10周年記念出版『消費者教育 Q&A』、25周年記念出版『新消費者教育 Q&A』に続き、35周年記念事業として装丁も内容も新たに『消費者教育 Q&A—消費者市民へのガイダンス』を出版しました。学会の総力をあげて、消費者教育の基礎をわかりやすく解説した一冊です。



- * 日本消費者教育学会編
『消費者教育 Q&A—消費者市民へのガイダンス』
中部日本教育文化会(2016年9月)

■その他の出版物

その他、各支部により、近年、次のような出版物が刊行されています。

- * 日本消費者教育学会関東支部監修
『新しい消費者教育—これからの消費生活を考える』
慶応義塾大学出版会(2016年2月)
- * 日本消費者教育学会九州支部「30年史」編集委員会編
『九州における消費者教育 30年の歩み—消費者市民社会の構築に向けて—』
花書院(2015年3月)
- * 日本消費者教育学会中部支部
『中部消費者教育論集』(毎年9月刊行)

Web サイト

■<http://www.jace-ac.org/>

本学会のホームページでは、学会活動の案内をはじめ、行政その他の関連機関が提供する消費者教育関連情報を幅広く掲載しています。ぜひご覧ください。(右のQRコードをご利用ください。)

